

福井工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	日本語Ⅲ
科目基礎情報						
科目番号	0120		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電気電子工学科		対象学年	4		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	配布資料					
担当教員	堀川 隼世					
到達目標						
(1)日本語で自分の意見を正確に表現できること。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	ことわざ、四字熟語、慣用句、故事成語を用いて正しく文章が書ける。		ことわざ、四字熟語、慣用句、故事成語を理解できる。		ことわざ、四字熟語、慣用句、故事成語を理解できない。	
評価項目2	手紙、葉書、レポート、レジメの書き方を理解し、適切に書ける。		手紙、葉書、レポート、レジメの書き方を理解できる。		手紙、葉書、レポート、レジメの書き方を理解できない。	
評価項目3	パワーポイントの作成法を学び、口頭発表の仕方を理解し、適切に発表できる。		パワーポイントの作成法を学び、口頭発表の仕方を理解できる。		パワーポイントの作成法を学び、口頭発表の仕方を理解できない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 RC2 JABEE JC2						
教育方法等						
概要	母国語でなく、日本語で考えて、日本語で自己表現が原稿などでできるようにする。					
授業の進め方・方法	日本のことわざ、慣用句等を学習し、手紙、葉書、レポート、レジメとパワーポイントの作成法を学び、口頭発表の仕方を学習する。					
注意点	評価方法：学年成績は課題にて評価する 評価基準：60点以上を合格合格とする 本科（準学士課程）：RC2◎ 環境生産システム工学プログラム：JC2◎					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス、ことわざ（1）		ことわざなどを理解できる。	
		2週	ことわざ（2）		ことわざなどを理解できる。	
		3週	四字熟語（1）		四字熟語を理解できる。	
		4週	四字熟語（2）		四字熟語を理解できる。	
		5週	慣用句（1）		慣用句を理解できる。	
		6週	慣用句（2）		慣用句を理解できる。	
		7週	中間学力課題		日本語を利用して、十分な文章を作成できる。	
		8週	故事成語（1）		故事成語を理解できる。	
	2ndQ	9週	故事成語（2）		故事成語を理解できる。	
		10週	履歴書		履歴書の書き方を理解できる。	
		11週	履歴書		履歴書を実際に書ける。	
		12週	手紙		手紙の書き方を理解できる。	
		13週	手紙		手紙を実際に書ける。	
		14週	葉書		葉書の書き方を理解できる。	
		15週	前期のまとめ		前期で学習した事項を充分に発揮できる。	
		16週				
後期	3rdQ	1週	レポートの書き方（1）		レポートの書き方を理解できる。	
		2週	レポートの書き方（2）		レポートの書き方を理解できる。	
		3週	レポートの書き方（3）		レポートを実際に書ける。	
		4週	レジメの書き方（1）		レジメの書き方を理解できる。	
		5週	レジメの書き方（2）		レジメの書き方を説明できる。	
		6週	レジメの書き方（3）		レジメを実際に書ける。	
		7週	中間確認課題		日本語を利用して、レポート、レジメなどを作成できる。	
		8週	パワーポイントの作成法（1）		パワーポイントの書き方を理解できる。	
	4thQ	9週	パワーポイントの作成法（2）		有効なパワーポイントの作り方を説明できる。	
		10週	パワーポイントの作成法（3）		有効なパワーポイントを実際に、作成できる。	
		11週	口頭発表の仕方（1）		口頭発表の効果的な方法を理解できる。	
		12週	口頭発表の仕方（2）		口頭発表の効果的な方法を理解できる。	
		13週	口頭発表の仕方（3）		効果的な口頭発表が実際にできる。	
		14週	質疑応答		質疑応答に効果的に対応できる。	
		15週	1年間学習した事項の総まとめ		日本語を効果的に理解できる。	
		16週				

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	課題	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	100	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	100	0	0	0	100